



第1162号2024.5.7  
連合中越地域協議会  
長岡市愛宕3-7-24  
TEL 0258-86-0111  
FAX 0258-86-0884  
発行人 矢島 良彦  
http://tyuuetu.net/  
定価 1部10円  
購読料は会費に含む



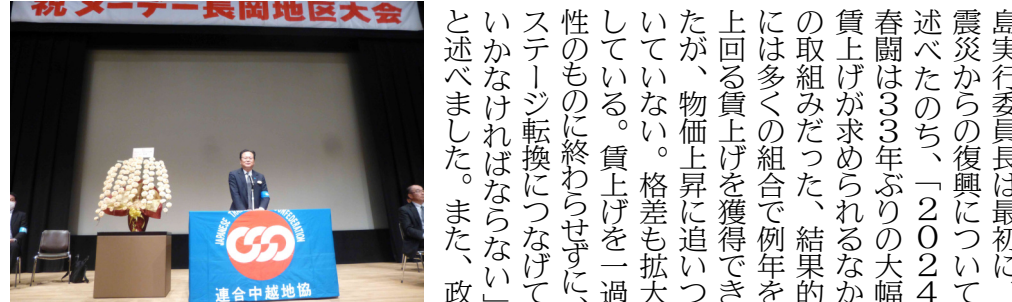
# 第95回メーデー各地区大会を開催 すべての働く仲間の賃上げを実現しよう!

第95回メーデー地区大会が、長岡地区大会をはじめ中越地協各5支部で盛大に開催されました。今年のメーデーのメインスローガンは「連帯の力で、平和と人権を守り、誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!被災地の復興・復興に向けて、みんなで支え合い・助け合おう!」県統一テーマは「震災からの復興と、すべての働く仲間の賃上げを実現しよう!」。5月1日(水)には、長岡市立劇場大ホールで長岡地区大会が開催されました。集会前にはデモ行進も行われ、900名近くの組合員やその家族が参加しました。

5年ぶりに新型コロナウイルスによる制限のない中で開催となったことから、新型コロナウイルス感染症禍前と同じ規模でデモ行進を行いました。当日は降雨も心配される天候の中、8時40分に南町公園、防災公園、



幸町公園の3箇所から「祝メーデー」の横断幕やサービス残業撲滅、公正なワークルールの実現、子育て支援の充実等のプラカードを掲げ、長岡市立劇場に向けて行進しました。



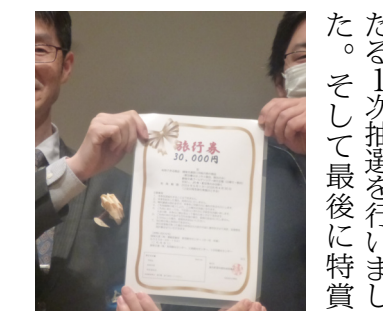
長岡市立劇場大ホールで行われた式典では、S Jネット権頭委員長と島津委員が司会を務め、山谷委員のメーデー起源朗読で、9時45分にスタートしました。



今回の記念講演は、「人生をあきらめない」と題して山口達也さんから講演していただきました。講演の最初に山口さんは「私はアルコール依存症です」と述べ、アルコール依存症になった自身の経験をもとに「人生をあきらめない」というテーマを話されました。

大会には、米山隆一衆議院議員、打越さく良参議院議員をはじめ、多くのご来賓からも参加いただきました。代表として小林俊夫連合新潟会長と磯田達信長岡市長から祝辞をいただきました。

小林会長からは春季生活闘争の課題や能登半島地震への対応、働き方改革の取り組みなど、連合新潟の取り組みも含めて、あいさつがありました。



磯田市長からは日本経済が大きな転換点にあるといわれている中で、「横と縦をつながって、連帯して大きな力を発揮していく」重要性が訴えかけられ、連帯しながら明るい長岡の未来をつくっていくことを約束したいと述べられました。

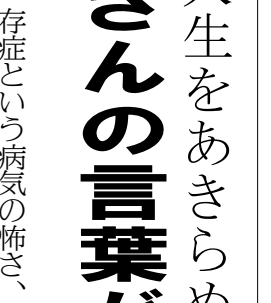
大会の終盤には大抽選会。S Jネット委員会の富井事務局長と蓮池委員が登場し、最初に長岡市共通商品券、お米5kg、コーヒージョイント券等が当たる1次抽選を行いました。そして最後に特賞

「旅行券3万円」の抽選が行われ、日本精機労組のZさんが当選しステージ上で贈呈されました。

大会はメーデー宣言の採択等を行った後、矢島実行委員長の首頭で団結ガンバロウを三唱し終了しました。

## 地域貢献事業 2団体に寄付金贈呈

今回の「地域貢献事業」は、今年で30回となる平和の森コンサート実行委員会と能登半島地震の被災者支援を被災直後から継続して行っているチーム中越に、矢島実行委員長から各10万円が贈呈されました。



寄付を受け、平和の森コンサート実行委員会の田中事務局長から「平和の森コンサートは最初から連合の皆さんにご支援

をいただけてここまで開催することができた。今年も7月31日に開催する

ので皆さんからもぜひ関わってほしい。」と御礼と紹介の挨拶がありました。続いてチーム中越の野村さんから「チーム中越は20年前の中越地震を教訓に市内のNPO団体、企業が協力してできたボランティア組織。能登半島地震発生直後からこの間の経験を生かして、輪島市、珠洲市の被災者支援を行っている。皆さんの支援をいただきながら継続した被災者支援を行っていきたい」と活動報告と御礼の挨拶がありました。

## 第95回メーデー開催状況

地区	開催日時	会場
長岡	5月1日(水)9:45	長岡市立劇場大ホール
見附	5月1日(水)18:00	アルカディア小ホール
小千谷	4月28日(日)10:00	小千谷市民会館
北魚沼	4月27日(土)10:00	小出ボランティアセンター
南魚沼	4月27日(土)9:30	南魚沼市民会館
十日町	4月27日(土)9:30	クロステン十日町

(長岡地区以外の開催報告は次号に掲載します。)

最後のお楽しみは  
大抽選会 特賞 旅行券3万円

# 長岡市政要望回答書 磯田市長から受け取る

4月11日(火) 11時から、昨年10月に提出していた、長岡市に対する要望書の回答を磯田長岡市長から受け取り、意見交換を行いました。

回答は当初3月の予定でしたが日程の都合上4月になったもので、当日は地協から矢島議長、五十嵐副議長、渡辺副議長、

横澤事務局長、清水事務局次長の5名が出席しました。

最初に磯田市長から重点要望としていた3点について回答がありました。

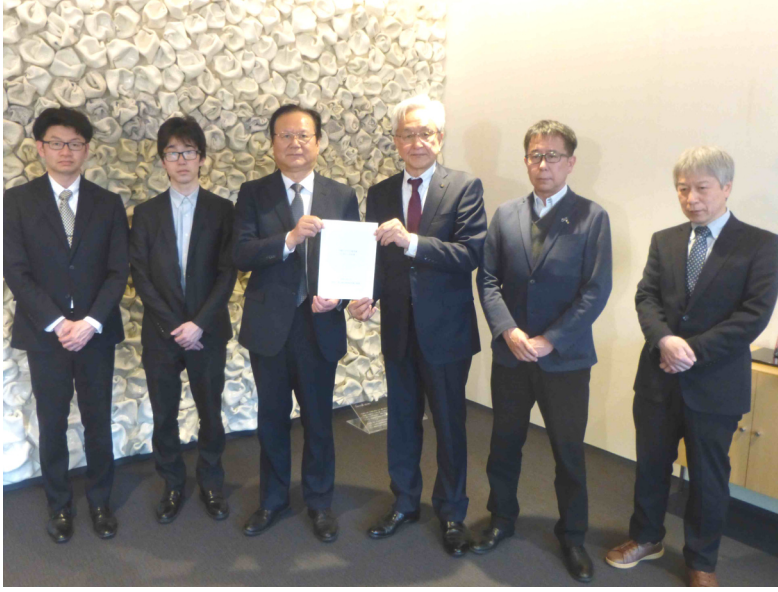
1点目の最低賃金の引き上げと周知、中小企業支援策について、県の審議会に例年以上の引き上げの要望し、周知につい

ても「ながおかマッチポックス」など機会を捉えて周知したい。中小企業等への支援策も「働き方改革相談員」等を通じて取り組んでいきたいとの回答がありました。

2点目の「グリーン成長戦略」「脱炭素社会」に伴う「公正な移行」について、労働組合を含む関係当事者が加わる社会対話に努めること、雇用環境の変化に対応できるよう連携と支援の協議を深めていきたい等の回答がありました。

3点目の中学校における部活動の地域移行に伴う保護者の負担軽減については、過度な負担とならないように環境整備に努めていきたいとの回答がありました。

この後、全般的な課題について懇談が行われました。矢島議長から今春闘の賃上げ交渉の状況を説明し、「中小・地域の企業では人員確保のため無理をして賃上げを行っているところもある。引



## 「農業・食料・環境問題を学ぶ」第1回実行委員会を開催

「農業・食料・環境問題を学ぶ」第1回実行委員会が、4月9日(火)午後6時30分から地協事務所で開かれました。

実行委員会の開催にあたり、会場副実行委員長(連合中越副議長)は「取り組みを通じて、食料や環境問題の理解を深めるとともに、単組、構成組織を超えた交流の場となるようにしていきたい」と挨拶を述べました。

次に、事務局からこれまでの取り組みの報告と今年度の取り組みが提案され、次の内容を決定しました。

昨年度に引き続き、福祉市民体験農園「Oasis R」で、参加可能な事業に取り組み。「Oasis R」は、ユニバーサル農園として、障がいのあるなし、老若男女、貧富の格差、社会的地位など関係なしに、だれも

引き続き地元企業への支援策が重要との要望と五十嵐副議長から人員確保に向けた現場実態の報告等が伝えられ、市長からも産業政策への取り組みなどの説明がありました。

また、学校教育やセーフティーネットの充実についても市長から話があり、学校現場の状況や不登校引きこもり対策について意見交換を行ってきまし

最後に市長から今後とも協力して市政を運営していきたいとのあいさつがあり終了しました。

今後、地協では政策福祉担当幹事を中心に回答内容の評価を行い、次年度の要望などにつなげていく予定です。

## ユニオンパワーアップセミナー

### 小千谷市そなえ館で防災学習会

春爛漫の4月20日(土) S J ネットでは「防災について学ぼう」をテーマに青年組合員・女性組合員を対象とした学習会(ユニオンパワーアップセミナー)を開催致しました。

今年1月1日に能登半島沖を震源とした大きな地震が発生し、能登半島はもちろん新潟県でも甚大な被害が発生し、現在も避難生活を余儀なくされている方々がおられることに胸が痛みます。

二十年前、新潟県中越大地震(中越地震)が発

生し多くの尊い命を失ったこの中越地域ですが、若い世代は地震体験を知らず、記憶も失われて行く現在、今一度防災について学習しようとして話し合い開催致しました。

災害体験の伝承と防災学習研修施設を兼ね備えたおぢや震災ミュージアム「そなえ館」へ越後交通様の貸切バスを使わせて頂き、施設での見学や防災学習を体験致しました。

体験コーナーではシートに座りM X 4 D による中越地震での実際の揺れが体験でき、現在は能登

## 「農業・食料・環境問題を学ぶ」事業 農園「Oasis R」

### 開園式



80人を超える参加がありました。

開園式では家老 U N E 代表が主催者あいさつ。団体の説明や農園の趣旨等を述べました。また、会場連合中越地協副議長が「農業・食料・環境問題を学ぶ」取り組み趣旨や U N E との連携などを挨拶で述べました。

その後、各団体に別れて作付作業を開始。中越地協の畑では、ジャガイモ作付からスタート。2本の畝に 30cm 間隔で 200 個程。大人と子ども 47 人で、種芋を置く人、種芋の間に肥料を置く人に別れ、実行委員の協力を受けながら手際よく作業。30分程で作付を終えました。次は、昨年の秋に植

えた玉ねぎの除草作業と追肥。冬を越して 15cm ほどに伸びた玉ねぎのまわりをきれいに除草しました。

その後、休憩を兼ねて家老 U N E 代表からの農業のお話。農作業で使う農機具の話からはじまって日本の食料自給率の話まで、笑いをまじえて楽しく学ぶことができました。

その後は、共同畑でのヨモギの植え付け作業。ヨモギは夏に収穫、乾燥して薬草の原料として販売され、農園の維持費となります。

畑作業後は、お楽しみのお昼食。U N E さんのお米で作ったおにぎり、山菜料理。そして豪快な串

今後も親目さんにとって役立つ学習会やセミナーを開催して行きます。是非ご参加下さい。お待ちしております。 (S J ネット 富井事務局長)

### 中越地域退職者連合 第3回役員会と研修を開催

中越地域退職者連合は、2月12日(火)に見附市の「そば道場」で蕎麦打ち研修と役員会を開催しました。

「医療・介護制度等」の回答、各種選挙の推薦候補、県が策定を進めている「困難な問題を抱える女性支援計画」に対するパブリックコメントの意見書の提出などを報告しました。

また、中越地域退職者連合も2月7日に県の出先の窓口である長岡地域振興局に提出したことを報告しました。

協議事項としては、長岡市・見附市に要請した介護保険制度の回答、組織拡大、第25回定期総会「地方議会に健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める請願、各種選挙の推薦などを協議しました。

定期総会は、5月22日(水)14時から高齢者福祉センター「けさじろ」で開催すること、総会終了後に懇親会を開催すること。各種選挙について、連合中越地域協議会と連携を取りながら進めることを決定しました。

また、「地方議会に健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める請願については、全国退職者連合・県退職者連合の依頼もあることから連合中越地協の推薦議員がいる長岡市と見附市で行うことを決定しました。

(高峰退職者連合事務局長)



10時から希望者6人で「そば道場」店主の上田幹事の指導で約1時間半をかけて蕎麦打ち研修を行いました。昨年も行ったので思い出しながらの蕎麦打ちは、600gのそば粉を交代でかき混ぜてから6等分して個々に延し棒で薄く引き延し、裁断機で細く切断し完了。出来上がった蕎麦は、ラップで包装し持ち帰ったり、昼食の天ぷら蕎麦に足して食べたりしました。

全員揃った12時に昼食を摂りその後、役員会に。役員会は定期総会から当日までの経過報告、今後の日程の順で協議しました。その中で、12月と2月に開催された県退職者連合の拡大幹事会で決定したジェンダー平等委員会の設置、県に要請した

